

広報

なかつ先

50年5月号

第137号

発行所
編集発行人
大分県・日田
中津江村

齊藤隆一



生きる

大地を登る 雨あがり

確かに見えた あの頂は

煙のような 霧誘い

すべる大地は いたずらに

足の疲れに しがつく

もう近い?

安定のない心

霧はれることなく

ただただ……歩くだけ

人口の動態

昭和50年4月30日現在

人口	2,473人
男	1,173人
女	1,300人
世帯数	615戸

対話の村政を!!

|| 緑と水を生かす村づくり ||

中津江村長 齊藤隆一



ものがあります。村政の基本的な考え方は本村の基本構想で明らかにしてある通り本村の地理的位置、自然的条件ならびに特色を最大限に利用した、いわゆる緑と水を生かした村づくりが基本理念になるものと思えます。

国、県等の広域的地域開発計画等と密接な連けいを保ちつつ村の振興計画を具体的にたて強力な実行力をもって村政を推進したいと思えます。

今後の重要な

施策は？

中津江村の存在価値は

この度統一地方選挙に当り、村民各位の信任を受け無投票にて村長に当選させて頂いていただきました。私を支持していただいた皆様に厚くお礼を申し上げますと共にその期待にそうべく全力をつくして村政に取り組み覚悟でございます。責任の重大さをひしひしと感じている次第であります。

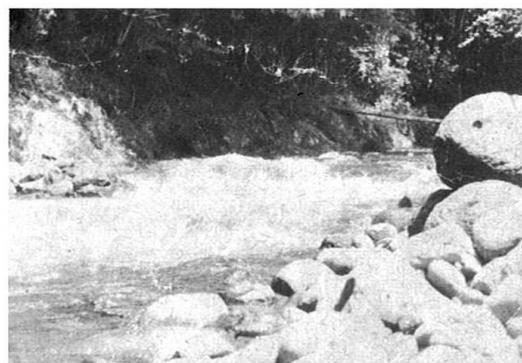
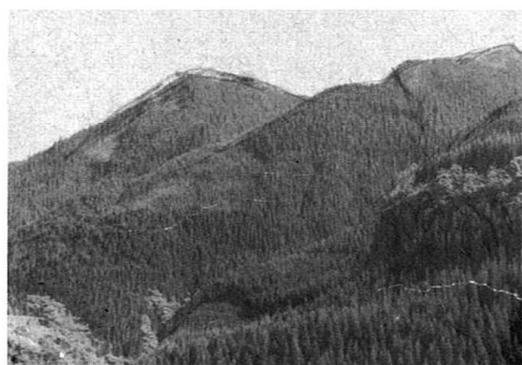
ご承知のような厳しい経済情勢、政治情勢の下で今後の村づくりは容易ならぬ

本村の存在価値は何か、それは水資源涵養地帯としての位置づけが主体となり森林のもつ経済的効用はもちろんです。特に森林の公益的機能が強く叫ばれている今日、水をまもり水を育てる事に主眼を置いて総合的振興施策を樹立し、発展策を構ずべきと思えます。

今後の主要な施策としては、(1)農林業の振興、特に特産農業の振興、農用地の造成、農事放送設備、農産物の貯蔵加工施設の設備。(2)道路の改良舗装、県道の主要地方面道、国道への昇格(3)テレビ難視聴解消、電話の即時ダイヤル自動化、給水施設の整備、生活環境の整備、生活改善センターの整備。(4)教育の充実、特に社会教育の充実、中学校の

統合整備、高校教育の充実促進。(5)労働力の確保充実農林業後継者の養成。(6)老人福祉の充実、老人福祉センター等の設備。(7)河川、ダム、山系を利用した観光態勢の確立及び温泉源の開発等であり重要な問題が山積みしています。なお、これらの施策は第二次林業構造改善事業、第二次山村振興事業計画等を中核として実施されることになると思えます。

その他、最近人件費等、義務的経費の増大に伴い一般的に村財政硬直化の傾向にありますので財源の確保増大に努め経費を節約し、常に健全財政を維持して投



資的事業の拡大を図り村民の福祉向上に支障なからしむる如く努力致します。これを要しまするに村政二期目を担当するに当り充分住民の意志を尊重し、対話の村政をモットーとし前期の実績と反省の上に立ち、ますます自己研鑽に努め己を無にして職務を遂行する所存であります。

統一地方選挙の結果、新しい議員さんも誕生しました。この後の積極的な議会活動を通じて村政にご協力を賜りますようお願い致しますと同時に村民各位のなご一層のご指導、ご鞭撻を願ひ申し上げます。

新村議会議員誕生

現職・新人ともに6人

表 I

氏 名	年齢	得票数
川津 一冬	55	177
牛島寿太郎	41	136
長谷部直徹	48	136
武原 芳郎	57	125.586
岩下 和生	32	124
森脇 茂	53	123
鷹野 勉	53	123
末松 義明	43	107
永瀬 勇雄	58	97
永瀬 幸夫	49	93
川野 信男	55	92
武原 弘	57	88.413

表 II

投票所	投票率%
鯛 生	95.33
丸 蔵	97.04
川 辺	95.29
野 田	97.60
計	96.06

統一地方選のしめくりとして、村長、村議会議員の選挙が四月二十七日に行なわれました。

村長選は現職の斉藤隆一氏の無投票当選となり、村議会議員は定員十二名に対し、現職、新人それぞれ七名の計十四名が立ち、新議員が表 I のとおり誕生しました。新議員は現職、新人ともに六名ずつで、初議会が五月七日に開かれ、議長に前議長の長谷部直徹氏、副議長に鷹野勉氏が選出され散会しました。

なお投票率は表 II のとおりです。

新議員の横顔

一言

牛島寿太郎 (41)

〈新〉会社々長



※村民による村民の為に
なる村民の政治

※行政は税金によってまか
なわれています。村民の為
になる正しい公平な使い方
を!

※住み良い村づくりでなく
住みたい村づくり。

※森林資源に囲まれた中津
江村の水と空気のすばらし
さを宣伝し、山幸の資源を
開発、経済的に村民の暮ら
しが向上するよう努めたい
と思います。

皆さんの代弁者として努
め、あたえられた四年間を
見守って下さい。

森脇 茂 (53)

〈二期〉農 業



二期目の議員として前回
の経験を十分に生かし、自
分なりに行動してみたいと
思っています。そのために
地域住民と接触する機会を
多くもち、住民の考えを充
分に知り、そうして議会活
動に少しでも反映していく
ように努力したいと思っ
ています。また言葉より行動
で議員活動をしていきたい
と思います。

武原 弘 (57)

〈新〉農 業



私は農民の代表として村
政の中で村民福祉の立場か
ら行政と経済団体(農協、

森林組合)を密着させ、村
民の皆さん方に経済団体で
は奉仕する事の出来ない面
を行政で、また行政では行
き届かない面を経済団体で
充分対応のできるよう努力
する覚悟です。

末松 義明 (43)

〈新〉農 業



中津江村においても過疎
の問題は深刻になり、離村
出稼ぎ等、ますますふえて
きている現状です。さらに
後継者の問題、教育の問題
等すべて過疎化の現象だと
思います。ほかに福祉の問
題等、考えねばならぬ事は
多くありますが、まず道路
の整備を完全にするること
です。日稼ぎに通う人、通勤
通学、いずれは保育園児の
送り迎えをするにしても、
どうしても道路を良くする
ことが考えられます。また
他にも積極的に取り組まね
(次頁へつづく)

ばならぬ問題は多くあります。未熟で未経験ではありませんが、何ごとにも真剣に取り組む覚悟でございます。

岩下 和生 (32)

〈新〉会社員



※高校進学での奨学資金制度、寄宿舎の設置、通学バス運行の実現。

※老人福祉対策として家庭奉仕員の増員や地区老人つどいの場の設置。

※労働雇用対策として出稼ぎ、山林労働者の人たちがかかえた問題を少しずつでも解消していくため就職相談係を行政の中に新設する。
※産業振興をはかるため、椎茸、茶などの特産物の振興と農産物総合加工工場の設置。

※中央保育所の設置。通園バスの運行。
若さの全力をつくす覚悟です。

川津 一冬 (55)

〈新〉農業



選挙中に訴えてきたことに対して、村民の方々が村政に何を求め、何を不満としているかが痛い程、胸にこたえました。期待を裏切らないように、住み良い、魅力のある村づくりのために活発な議員活動をしたいと思っています。

川野 信男 (55)

〈四期〉農業



すべての基本は人間尊重にあると思います。村民の福祉も村政の発展も、また如何なる立派な構想も、これなくしては決して成果は望めないと思います。お互

いが相手の意見を尊重し合い、そしてそこに生れる発想こそ近隣社会の、つまり部落の明るい出発であり、ひいては村政の発展につながるものと思います。そこで私は人間尊重を主に社会教育、社会福祉を目標にしてゆく考えです。

長谷部直徹 (48)

〈四期〉農業



選挙期間中、村内の各所でいろいろな人と対面し、話し合いをいたしました。そこで出て来るのは、まず過疎の問題、教育の問題、特に中学校統合、高校進学についての経済的な問題、或いは環境の整備、産業の振興、特産物の奨励等、多くの問題点について話し合いをつづけてきました。

今後はこれまでの経験を生かし皆様方の代弁者として奉仕者として議員活動に専念する決意であります。

武原 芳郎 (57)

〈四期〉農業



私は過去十二年間、議席を務めさせて頂きましたが、強い信念と決断力、周到な準備と実行力を今ほど必要とする時期はないと思っています。教育、農林業、社会福祉、保健衛生、土木、過疎問題等々、四億円の予算のわく内で重点施策はなにかを見定め、村が潤い発展し、今より更に生活の向上に努力することが議員の活動であり、使命であると思います。

鷹野 勉 (58)

〈五期〉商業



永瀬 幸夫 (49)

〈新〉農業



当村は人口の減少による過疎化の波にもまれ、青年の流出、労働力の老化、教育面には生徒数の減少による問題、福祉面につきましても生活保護家庭の増加老人問題、農業問題等、何一つ重大でない問題はありません。

今後村民のみならずとも、中津江村の繁栄に努力していく覚悟でございます。

永瀬 勇雄 (58)

〈四期〉農業



(敬称略・順不同)

大分県指定文化財 にきまる

〈無形民俗資料〉

的ほがし祭・もちつき祭

〈天然記念物〉

宮園神社のスギと自然林

昨年の十一月に村指定文化財になりました宮園神社のもちつき祭りとスギが県指定になりましたが、指定内容が次のとおりになりましたのでご紹介します。三月号で紹介した的ほがし祭りともちつき祭りが無形民俗資料として、また宮園神社のスギと自然林が天然記念物として三月二十八日付で大分県指定文化財となりました。県の指定文化



(的ほがし祭)

財になれば村の指定は解除されることとなります。

祭りとスギについては先に紹介しましたが、自然林については次のとおりです。

本村の九十一％は林野で占められ、その八十四％が杉の人工林にかえられていて原植生の森林は消滅しつつあります。津江神社の本殿背後にある境内林には比較的 naturally に近い状態の森林が残されていて、この一帯が杉林の代償植生に変わった現在、その学術的価値は高く、原植生の復元にあたって自然状態を維持する林分の存在がきわめて貴重であります。この自然林は自然植生としては常緑広葉樹の上限を領域とするウラジロガシ林が東北斜面に発達し、二、九六三平方メートルあり、また小丘状南向きの尾根にある常緑針葉樹のモミツガ林六六五平方メートルからなり、林冠部の優占種ウラジロガシ、モミ、ツガを除いて両林分の構成種はほとんど共通しています。宮園神社の歴史性をもち、また日田地方のスギの元祖木とされている杉並木と共に、現在残されている教少ない自然林としての価値は高く、「津江神社のスギと自然林」として県指定になりました。

愛犬家のみなさんへ

飼犬の放し飼いはやめましょう。原則として飼犬はつないで飼育しなければならぬことはご承知のとおりです。しかし近頃、鑑札をつけた犬が全くの野放しで昼夜の別なくウロウロしているのを見かけます。ウロウロするだけでなく近所の畑を荒らしたり、ゴミ集積所に持出されたゴミの包を食い散らして収集ができず、非常に非衛生的です。

また、しつけの良い？犬は他人の家に忍び込み、台所の残飯整理はもちろん、靴、下駄などを失敬するなどチョイチョイ苦情が舞い込みます。

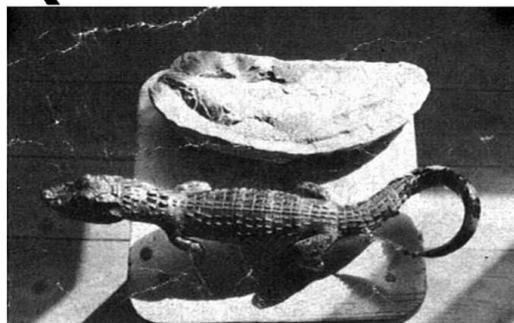
特に最近、全国的に飼犬から咬みつかれた(咬み殺された例も)事件も発生しています。可愛い愛犬です。

鯛生小学校に ワニのハクセイと 魚の化石を寄付

黒肥地日吉さん(六十二才)が母校である鯛生小学校を訪れ、ワニのハクセイと魚の化石を寄付されました。鯛生小の児童は珍しがって大変喜んでいきます。黒肥地さんは鯛生の藤木義雄さんといとこであり同級生で柿の谷に住んでいたといふことです。十九才の時ブラジルに移住して、このほど中津江を訪れたものです。黒肥地さんはブラジル国サンパウロ州タバウテ市に住んでおり、以前タバウテ日本人会長で、現在は熊本県人会長をされています。

ありがとう

黒肥地さん



<シリーズ>

わたしのふるさと

—その5—

鯛生中学校の生徒の作文より)



高森 晶子

私達の村は、人口が年々減りつつある。このままでいったら将来どうなるので

あろうか？若い人はほとんど
ん都会にいつてしまふ。そ
れもそのはず、村に居たっ
て仕事はない。生活をして
いくことができない。そう
すればやはり都会に行かな
くてはいけない。一人減り
二人減り……だんだんと都
会の方へ行つてしまふ。こ
のままでよいものだろうか。
中津江村という自然に見守
られてゐる村をなくしてし
まつてよいものだろうか。
なんとかして、この村を発
展させることはできないも
のだろうか。この自然を生
かし、若い人達が将来都会
に行かず、この中津江村で
生活していけるような仕事
はないものだろうか。たと
えば清らかな水をいかしワ
サビ作りをしたり、季節の
花を作つたりしてみたらど
うであろうか。もっともつ
と中津江村の長所を生かし
てみたらよいのではないで
しょうか？

この中津江村は私のふる
さとです。いつまでもあつ
てもらいたい。中津江村と
いうものをなくしてはなら
ないのです。



私のふるさと
吉本 恭恵

私の住んでいる鯛生は、
人の数は少なくていろいろ
な面で多少便利も悪いよう
な山の中。こんなところが
私のふるさと。今はこんな
だけれど、前は鉱業所が栄
えていたところは違つた鯛
生。私は知らない私のふる
さと。私は知らないけれど
おそらく今とは全然違つて
た鯛生。少なくとも私の知
つてゐる範囲では小学校三
年生の時、鉱業所が閉山に
なつて四十人余りいた学級
の友達が今では二十人余り
になつてしまつた。山の神
の部落も今では一軒になつ
てしまつた。何につけても
すべて寂しくなつてしまつ
た。だけど今も前も、多く
ても少なくとも、やっぱり
私のふるさとには鯛生で、や
っぱり私は鯛生が好きです。

そして、どんなふうにも鯛生
が變つても、私の気持ち
は変わらないと思ひます。



私達の郷土
牛島 稔大

私達の郷土で一番好きなのは雨の日である。しとしと雨の降つてゐる中津江村は本当に優しい感じがする。過その村だ、過その村だとみんな心配してゐるが、ちやんと農林業をやつて生きてゆけばいいじゃないか。そりや、現金収入などは確かに少ないかもしれない。ぜいたくだつてできないかもしれないけれど、一日一日を汗を流して働き自分の先祖の昔からの家を守つて住んでゆけばいいじゃないか。この村から出ていった人達やその子孫の人たちもきつとあと何十年かしたらこの村に帰つてくると思ふ。

ストをした方が働くより金になる都会みたいな所じゃいつか根こそぎぶつたおれらと思ふ。そんな所へ魅力を感じて行く人の頭を疑いたい。しかし、都会へ出かけに行かなくては食べてゆけない人々は決して少なくない。むしろ多いくらいだ。中津江村へ工場の誘致などを考えるより、村は完全に農業で生きていけるよくな自給自足の農家をふやすために耕地の開拓など積極的に取り組み、農業の方法を村が力を大いに貸して改善してゆけばいい。中津江村の農家は共同して知識を得、また自分で新しい農林業を作りだして欲しい。道路の舗装や村内設備の完全化など後回しにして、村から出て行かねば生きていけない人のために、農地を完全な農業ができるくらいあたえてあげてはどうか。もっともつと農林業に目を向けてほしい。もし、農業で成功すれば過も減るだろうし、観光や工場などを誘致するより、今から食糧危機が叫ばれてゐる将来、有利なのではないだろうか。

中津江村社会福祉協議会 昭和49年度の決算

昭和49年度の中津江社会福祉協議会の決算は次のとおりです。

収入総額..... 1,024,128円
 支出総額..... 912,515円
 翌年度繰越金..... 111,613円

－支出－

科 目	金 額	摘 要
会 議 費	3,350	諸会議費
活 動 費	244,865	
繰 出 金	550,000	世帯更正資金、心配ごと相談所
負 担 金	94,300	共同募金負担金等
積 立 金	20,000	祭だん購入積立金
次年度繰越金	111,613	
計	1,024,128	

－収入－

科 目	金 額	摘 要
村補助金	300,000	運営費補助、心配ごと補助
助成金及び委託金	54,800	心配ごと助成、事務費助成
配 分 金	28,827	共同募金配分金
貸 付 料	85,000	祭だん貸付料
寄 付 金	456,820	香典返し、一般寄付
繰 越 金	92,378	前年度繰越金
雑 収 入	6,303	預金利子等
計	1,024,128	

〈文化財紹介〉

鯛生石

鯛生の永瀬商店の裏に鯛生石と呼ばれる石がある。この石は鯛生の地名の起りの石といわれ、田島氏の記念碑の後の鯛生様を男塚、鯛生石を女塚と伝えられて

いるところからみれば古墳であると思われる。この鯛生石について豊西

説話に次のような話がある。「中西村に鯛生（鯛植）という所あり、田島舎人といふ武士、昔此所に住居せり肥後の国菊地と内縁あり、或時菊地より大鯛二尾送り来る。舎人家人に申し付け、右の鯛を地に植えたりと言

い伝ふ。今に女鯛石、男鯛石となりて不浄を嫌ふ。依りて基所を鯛植と号す」。



病院・診療所

へは必ず

保険証を

国民健康保険被保険者証（保険証）が四月一日で新らしくなり大多数の家庭の保険証番号が変更されました。

病院、診療所へ行くときは保険証を持参することは

当然ですが、近頃診療を受ける方のうち保険証を持たないで行かれる方が多いようです。ほとんどすべての病気が保険診療であり、保険証の提示がないと事務処理に迷惑がかかるばかりでなく、場合によっては診療費の全額を窓口で請求されます。必ず保険証はその都度、病院等の窓口に出して診療を受けて下さい。

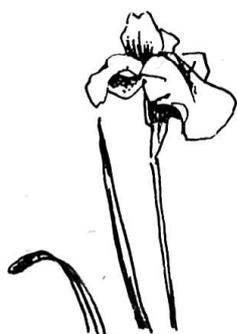
特に老人の方は「老人医療証」も一緒に窓口に出して下さい。

ご寄付お礼

中津江村社会福祉協議会に次の方々より多額の寄付をいただきましたので、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

(香典返し) 敬称略

- 。 津江 孝男 亡登
- 。 河津 主計 亡五郎
- 。 合谷 又男 亡ミネオ
- 。 三宅 清 亡実
- 。 長谷部由人 亡キクエ
- 。 穴井 京司 亡ニワ
- 。 津川ヒフエ 亡寅夫



- 。 吉本ミサオ 亡重蔵
 - 。 川村 岩吉 亡アサノ
 - 。 永瀬トシエ 亡信吉
 - 。 川村 恭一 亡アサエ
- また前村議会議員、長谷部豪氏より身体障害者協議会へ金一封をご寄付下さいました。

バドミントン教室 卓球教室

お気軽にどうぞ!!

村民全員の生活にスポーツを！という方針で今年もバドミントン教室、卓球教室を開催することになりました。これらの教室は初心者を対象としておこなうもので（経験者も参加できます）基本から実践まで教えます。

開催期間は6月26日（月）から毎週月・水・金曜 午後7時30分より。

また開催場所として、バドミントン教室を中津江中学体育館、卓球教室を鯛生中学体育館でおこないます。

ぜひご参加ください。

森林組合 共販報告

樹種	材長	径 級	平均伸値
す	4 m	3～6	35,000
		7～12	30,000
		13～16	36,000
		18～28	38,000
		30上	43,000
ぎ	3 m	3～6	25,000
		7～12	25,000
		13～16	33,000
		18～22	33,000
		24～28	35,000
ぎ	2 m	30上	55,000
		3～7	14,000
		8～18	15,000
		20上	20,000
ぎ	6 m	14～16	38,000

雑記

※新茶の香りが夏が近いと教えてくれます。朝食の時に飲む香りは何かをなつかしむ気がして落ち着かせてくれます。

※あわただしい選挙が終わったのもつかのま、農家では茶摘み、田植えと休む間もない農繁期がやってききました。

全国山村青年林業技術 交換研修大会に参加して

津江林研 井上伸史

三月五日より七日まで東京に於て、参加者二七〇名で全国山村青年林業技術交換研修大会が開催された。各部門ごと九班に分れ、体験発表を行ない討議をした。内容としては林業に取り組んだ動機と今後どのような経営により発展させるかという事が主な内容で、中でも次のごとく林業全般に言える事ですが、発表者全員の共通している問題を

あげてみました。
※ 林業の後継者がいない。その理由として、毎年の一定な収入が不安定なので経営に対して魅力がない。
※ 相続税の問題について。高額な相続税により造林の低下、林業に対する労働意欲の低下。
※ 経営、育林技術の未熟。小面積所有者として、林業が長期であるため途中で収入を得たいが、その計

地域ぐるみの開発を

面性に乏しく不安定、以上の三点が主なる問題で、討議の中心となった。これらの問題点はあるがこの中から何か見出し出そうとする意欲は感じた。しかしながら、まだ年令的に若い事もあってか、これらの問題を解決する糸口までには至らなかった。

積で高額な収入を上げれば林業に従事する若い人も魅力を感じ、その不安も薄らいでいくと思います。そのためには個人個人の経営のみならず、地域ぐるみの開発と、林業の行政の力が必ず必要です。各々経営形態は違っても林業を志す者が一体となり、真剣に取り組めばその道も開けると思っています。

以上のごことは林業全般に共通する問題ですが、さらにこの津江林業の発展を考えた場合に、今一度この地域の林業を振り返り見る必要があるのでないか！と思っております。

